

太陽研究者連絡会シンポジウム 2024

日程：2025年2月17日（月）-19日（水）

会場：JAXA 宇宙科学研究所大会議場・Zoom

開催趣旨：「太陽圏システム科学」時代の太陽研究

既存の各観測装置に加えて FOXSI-4 ロケット実験や SUNRISE-3 気球実験が成功し、サイクル 25 の急速な進展に伴い新たな観測データが蓄積されつつある中、2028 年度打上げの SOLAR-C 設計開発が本格化している。2030 年代には多様な探査機群による「太陽圏システム科学」のネットワークが構築されようとしている一方、宇宙科学を取り巻く状況は急速に変化しており、太陽研究者は情勢を見極めながら今後の方向性を模索していかなければならない。そこで 2024 年度の太陽研連シンポジウムは「『太陽圏システム科学』時代の太陽研究」と題して、最新成果や周辺状況に関する招待講演を中心にプログラムを構成する。

プログラム：

2月17日(月)			
13:00-13:10	世話人	開会・アナウンス	
最新成果の報告 I			
13:10-13:40	清水敏文 (ISAS/JAXA)	SOLAR-C 状況報告	招待
13:40-14:10	石川遼太郎 (核融合研)	SUNRISE-III/SCIP のデータ較正状況と今後の展望	招待
14:10-14:40	成影典之 (国立天文台)	観測ロケット実験 FOXSI で実証した太陽 X 線集光撮像分光観測の威力	招待
14:40-15:00	久保雅仁 (国立天文台)	韓国 KASI・SNU と実施した BBSO/GST・ひので・IRIS の共同観測	招待
15:00-16:00		コーヒー+ポスター	
16:00-16:30	国吉秀鷹 (東京大学)	太陽コロナ加熱における渦の役割	招待 (博論)
16:30-17:00	正木寛之 (千葉大学)	機械学習と数値シミュレーションによる太陽対流層の速度場推定	招待 (博論)
17:00-17:20	藤森愛梨沙 (東京大学)	「ひので」衛星観測を用いた太陽極域磁場の導出方法に関する研究	一般
17:20-17:40	市川椋大 (茨城大学)	GREGOR-IRIS の共同観測で探る小規模増光現象の 3 次元速度場・磁場構造	一般
2月18日(火)			
2024年5月巨大太陽フレアとその影響			
09:30-10:00	草野完也 (名古屋大学)	活動領域 NOAA 13664 の3次元磁場解析とフレア発生予測について	招待
10:00-10:30	津川卓也 (NICT)	2024年5月及び10月に発生した大規模宇宙天気現象の予報と社会的影響について	招待

10:30-11:00	三好由純(名古屋大学)	「あらせ」衛星による 2024 年 5 月宇宙嵐におけるジオスペース変動	招待
最新成果の報告 II			
11:00-11:30	Yeongmin Kang(名古屋大学)	太陽フレア活動領域の磁気流体力学過程に関するデータ駆動型シミュレーション研究	招待 (博論)
11:30-11:50	木下岳(東京大学)	複数探査機が観測した銀河宇宙線変動の多点比較から迫る ICME の時空間発展過程	一般
11:50-13:00		昼食	
多点太陽観測によるサイエンス			
13:00-13:30	今田晋亮(東京大学)	多点太陽観測状況説明	招待
13:30-14:00	Matthew West (ESA)	The ESA Vigil Mission: Monitoring Space Weather from L5	招待
14:00-14:20	久保勇樹(NICT)	L1 ミッション(仮)	招待
14:20-14:35	鳥海森(ISAS/JAXA)	中国 Solar Polar-orbit Observatory 計画報告	一般
14:35-15:55		議論	
14:55-16:15		コーヒー+ポスター	
太陽研連総会			
16:15-17:30		太陽研連総会	
17:30-18:00		移動	
懇親会			
18:00-20:00		懇親会	
2月19日(水)			
最新成果の報告 III			
09:30-09:50	森島啓太(名古屋大学)	Hinode/EIS と惑星間空間シンチレーション観測で探る低速太陽風の流源	一般
09:50-10:10	長澤俊作(UC Berkeley)	First Direct Focusing Hard X-ray Imaging of M-Class Solar Flare with FOXSI-4 Sounding Rocket Experiment	一般
10:10-10:30	菅井春佳(中央大学)	ブラッグ反射型分光偏光計 ParaDAXAS による太陽フレアの観測シミュレーション	一般
10:30-10:45		休憩	
宇宙科学を取り巻く状況			
10:45-11:15	國中均(ISAS/JAXA)	宇宙科学を取り巻く状況	招待
11:15-11:30	笠羽康正(東北大学)	太陽系 GDI 2024 and beyond	招待
11:30-11:45	下条圭美(国立天文台)	太陽系統合 RFI・太陽将来計画	招待
11:45-12:00		議論	
12:00-13:00		昼食	
13:00-13:30	山口弘悦(ISAS/JAXA)	ISAS 宇宙物理学ミッションの最新状況と将来検討	招待

13:30-14:00	勝川行雄(国立天文台)	宇宙科学ミッションの将来フレームワーク	招待
14:00-14:20	堀田英之(名古屋大学)	国立天文台科学戦略委員会・サイエンスロードマップ	招待
14:20-14:40		議論(含「日本天文学白書」)	
14:40-15:40		コーヒー+ポスター	
最新成果の報告 IV			
15:40-16:00	Park Inchun(NICT)	Developing of Compact Magnetogram for space weather monitoring	一般
16:00-16:20	栗原明稀(東京大学)	XRISM 精密分光による恒星コロナの高温プラズマ診断	一般
16:20-16:40	吉久健朗(京都大学)	コロナにおける熱的非平衡性のループ長依存性について	一般
16:40-16:50		議論・閉会	

ポスター：

2月17日(月)~19日(水)			
1	野澤恵(茨城大学)	宇宙物体の軌道データから探る太陽活動の影響	
2	野澤恵(茨城大学)	衛星観測画像の輝点と宇宙天気現象の相関について	
3	井上峻(京都大学)	NICER アーカイブデータを用いた RS CVn 型連星における低電離鉄 K α 輝線の系統解析	
4	伴場由美(NICT)	物理モデルに基づくフレア予測スキーム「 κ スキーム」の NICT 宇宙天気予報への実装	
5	大窪遼介(防衛大学校)	太陽放射の変動における水素ライマン線放射の特徴とその地球電離圏への影響	
6	堀田英之(名古屋大学)	高解像度輻射磁気流体シミュレーションで明らかにする黒点半暗部とエパーシエッド流の生成過程	
7	桜井隆(国立天文台)	東京天文台・国立天文台の黒点相対数の再校正(SN Ver.2)	
8	庄田宗人(東京大学)	天文学会 セッション改変アンケートの結果報告	
9	三澤浩昭(東北大学)	東北大太陽電波観測系機関報告	
10	渡邊恭子(防衛大学校)	横須賀太陽電波強度偏波計(Yokosuka Radio Polarimeter; YoRP)による太陽マイクロ波スペクトル観測	
11	柴崎清登(太陽物理学研究所)	太陽コロナが百万度に維持される仕組み	
12	大辻賢一(NICT)	ひまわり 10 号搭載高エネルギー陽子線計測装置の開発	
13	渡邊鉄哉(国立天文台)	Revisiting of solar flare spectra in the wavelengths of Fe Lyman α observed by Hinotori	
14	加藤裕太(富士通・名古屋大学)	太陽圏安全確保を見据えた太陽高エネルギー粒子事象予測モデル開発の取り組み	
15	北島慎之典(防衛大学)	PHITS を用いた太陽フレア時の電離圏下部の電子密度の再現・評価	

	校)	
16	廣瀬維士(総研大)	太陽 X 線観測ロケット実験 FOXSI-3 が検出した Giant Arcade の多温度構造の精査
17	山下真依(ISAS/JAXA)	太陽質量程度の前主系列星における大気加熱スケーリング則の調査
18	大津天斗(京都大学)	太陽プロミネンス噴出の速度場解析:空間分解・空間積分データの比較
19	吉田南(東京大学)	惑星間空間磁場の時間変動と太陽磁場の関係
20	鄭祥子(国立天文台)	Solar Cycle Variation of Polar Off-limb Chromosphere Observed in IRIS Mg II hk lines
21	増田智(名古屋大学)	野辺山電波ヘリオグラフで観測されたプロミネンス噴出現象に関する統計研究
22	谷口英駿(名古屋大学)	マイクロ波観測から探る微小な太陽フレアの物理的特
23	矢倉昌也(名古屋大学)	Fermi 衛星で観測されたフレアの Time-of-Flight を用いた統計解析
24	岩井一正(名古屋大学)	次世代太陽風観測装置の開発と科学検討
25	佐藤慶暉(総研大)	太陽フレアにおける電流シートとループトップの電子加速率の評価
26	山崎大輝(ISAS/JAXA)	SOLAR-C に搭載する超高精度太陽センサ (UFSS)の EM 性能検証試験
27	夏目純也(京都大学)	複数彩層ラインで観たポストフレアループの特徴の比較
28	上林暉(京都大学)	太陽 X 線の精密分光観測を行う CubeSat 衛星の開発
29	永田伸一(京都大学)	Daniel K. Inouye Solar Telescope (DKIST) 搭載用 Near Infrared Tunable Filter(NIRTF)検討状況
30	内藤由浩(総研大)	Alfvénic 波の速度振幅の計測: IRIS 分光データを用いたスピキュールの 3 次元運動の解析
31	浅山信一郎(SKAO)	次世代太陽風観測装置用フェーズドアレイアンテナの合成ビーム評価
32	渡部温(名古屋大学)	次世代太陽風観測装置用アナログ信号受信系の開発
33	石神瞬(総研大)	静穏領域ループの加熱機構の調査
34	塩田大幸(NICT)	ひのでで観測された太陽極域磁場の変動とサイクル 25 の極性反転の進行に関する考察

※ポスターサイズ：A0 縦

世話人：

鳥海森、山崎大輝、山下真依 (ISAS/JAXA)、下条圭美、石川遼子、花岡庸一郎 (国立天文台)、岩井一正、堀田英之 (名古屋大学)、渡邊恭子 (防衛大学校)、浅井歩 (京都大学)

以上